

コミュなび!!

Community Navigator!!

12月号



地域政策課から、11月までの地域コミュニティ組織の活動状況を紹介します。

上府中地区

11月9日クリーンせきぐち

上府中地区まちづくり委員会の生活環境・地域振興分科会では、「クリーンせきぐち」と題し、関口川の清掃を行いました。まちづくり委員会の委員のほか、千代中学校のバレー部員など、合計45名が参加し、36kgのごみを排出しました。近くに在住している方からは、「今までで一番きれいになった」とのお言葉をいただきました。毎年の河川清掃を通じて、地域住民の環境意識の啓発や生態系の保全に努めています。



大窪地区

11月9日 おおくぼ村祭り

大窪地区まちづくり実行委員会（健康・福祉分科会）では、「おおくぼ村祭り」への開催協力を通じて、地域の多世代交流を図りました。

「おおくぼ村祭り」とは、これまで大窪小PTAが主催してきたバザーのリニューアルイベントで、当日は、20店舗以上が出店し、地域の交流がさらに深まる楽しいひとときとなりました。

オープニングセレモニーでは、秋山分科会長からご挨拶があり、「おおくぼ村祭り」が地域交流の場として、今後も続いていくことを祈念しました。





早川地区

11月10日 クリーン大作戦



早川地区まちづくり委員会地域交流分科会では、全市一斉美化清掃運動の日に合わせて、早川クリーン作戦を実施しました。当日は、まちづくり委員会の委員のほか、地域の子どもたちや漁協関係者など68名の方が参加し、早川小学校体育館周辺の草刈りや河川敷のごみ拾い、早川駅前の花植え作業を行いました。清掃活動を通じて、地域住民の環境意識の啓発に努めています。

二川地区

11月10日 サポーター交流会



二川地区まちづくり委員会の健康・福祉分科会では、「ちゅうりつぷの会」という名前のもと、草むしりやごみ出しなどの生活支援サービスを提供しています。サポーター交流会では、実際に活動している登録サポーターを招き、意見交流を行いました。地域の方々に喜ばれる、より良いサービスになるよう、当日寄せられた意見をもとに活動の見直しを行っています。



酒匂・小八幡地区

11月10日 サポーター交流会

酒匂・小八幡地区まちづくり委員会エスケイひだまり分科会が、サポーター交流会を開催しました。日頃から生活応援隊事業のサポーターとして活動してくださる方々が集まり、活発に情報交換を行いました。また、市環境政策課の職員に「ごみの分別方法について」の講演をしていただき、サポーターとして活動していく際の悩みの一つであるごみの分別方法について学びました。



上府中地区

11月10日 ミニコンサート

上府中地区まちづくり委員会では、蓮華寺と協力してミニコンサートを開催しました。お寺の本堂を会場として総勢12組の出演者による唄や楽器の演奏などが行われました。今回もたくさんの方の来場者でにぎわい、演奏者はそれぞれ楽しみながら演奏していました。また、スタッフの皆さんで作ったおにぎりや豚汁の昼食もとても人気があり、回を重ねるたびに来場者が増えています。





国府津地区

11月10日 みかんの花咲く丘コンサート



国府津地区まちづくり推進委員会の地域振興分科会では、国府津商工振興会の後援として、地域の保育園児や小学生などを対象とした「みかんの花咲く丘ファミリーコンサート」を開催しました。当日は、石塚保育園児、国府津保育園児、国府津小学校児童有志による合唱のほか、国府津学校前囃子保存会による小田原囃子の演奏が披露され、大勢の来場者でにぎわいました。演奏会終了後には、抽選会の催しも行われ、大盛況でした。

早川地区

11月15日 通学路点検



早川地区まちづくり委員会の交通安全・防犯分科会では、児童が安全に小学校へ通えるよう、年に一度早川小学校校区の通学路点検及び安全対策を行っています。

当日は、まちづくり委員会の委員のほか、早川小学校校長やPTA役員、駅前交番の巡査にもご参加いただき、様々な視点から通学路の安全点検を実施することができました。



幸地区

11月16日 健康教室

幸地区まちづくり委員会（健康福祉・生活環境美化部会）では、毎年11月に「健康教室」を開催しており、スタッフを含め、計34人が参加しました。

今年は、昨年に引き続き、間中病院のリハビリテーション部長である相原様をお招きし、『自律神経を「整える」セルフメンテナンス』をテーマに、自律神経と心身の関係性やバランス、呼吸の大切さなどについてご講演いただきました。

参加者は、椅子に座りながら、呼吸やストレッチによるセルフメンテナンスを学び、健康増進を図りました。



芦子地区

11月16日 芦子小ふれあいフェスタ

芦子地区まちづくり委員会では、芦子小PTA主催のふれあいフェスタにブース出展を行いました。Aグループは防災グッズの展示や体験、Bグループはごみポスターマップ及びメッシュ型コンテナの効果についての展示、Cグループは居場所マップの展示や居場所づくりに関するアンケートの実施をしました。当日は多くの子どもたちが来場し、まちづくり委員会の活動について知ってもらうことができました。





下府中地区

11月17日 ウォーキング

下府中まちづくり委員会の健康分科会では、地域の絆を深めることと健康な生活を営むことを目的に、「わが街を歩き歴史を学ぼう」という名のもとウォーキングを実施しています。

今年度は、飯泉観音と巡礼街道を巡るコースで、27名の方が参加しました。当日は、すっきりとした秋晴れの中、小田原ガイド協会による説明を聴きながら、気持ちよくウォーキングをすることができました。



豊川地区

11月17日 グラウンドゴルフ大会

豊川地域コミュニティ運営協議会の第1分科会（健康・福祉）では、地域住民の健康増進と親睦を図るため、「グラウンドゴルフ大会」を豊川小学校のグラウンドにて開催しました。当日は、10チームが出場し、計60名の方が参加し、2ラウンド制（8ホール／1ラウンド）でプレイを楽しみました。多くの歩数を歩くことで、足腰も鍛えられ、運動能力のアップにもつながりました。





富水地区

11月19日 健康ふれあいウォーキング

富水地区まちづくり委員会（健康・福祉分科会）では、毎年11月に「健康ふれあいウォーキング」を開催しており、スタッフを含め、計55人が参加しました。

今年は、江戸時代に造られ、疎水百選にも選ばれている「荻窪用水」を巡り、高低差のある約7kmのコースでしたが、市内の歴史や文化にも触れながら、健康増進を図るとともに、参加者同士で楽しく交流しながら、親睦を深めました。



桜井地区

11月22日 桜井地区意見交換会

桜井地区では、自治会や小学校、中学校、幼稚園、包括支援センターなどを一堂に会して意見交換会を開催しました。今回は、小田原消防署栢山出張所の職員と小田原警察署生活安全課課長の講話がありました。それぞれ地域の実情に合った話をしていただきました。また、各団体から近況や課題などを報告し、主に地域で子どもを見守ることについて考えました。





新玉 地区

夏休みラジオ体操、頑張りました！

新玉地区まちづくり委員会では、夏休み期間中、子どもたちを対象にラジオ体操を実施しました。50人以上の方が参加し、子どもと大人の交流の場にもなりました。子どもたちが笑顔でスタンプカードにスタンプを貯めていく様子が印象的でした。



「地域活動担い手育成・発掘支援講座」を開催しました!

地域政策課では、毎年度、既存の地域コミュニティ組織の委員等が持続可能な活動ができるよう、担い手の育成や効率的な運営などを学ぶとともに、地域の担い手の発掘に繋がった事例を紹介する講座を開催しています。

今年度は、「つながる居場所の作り方」と題して、子どもと子育て世代の居場所づくりの実践者にご登壇いただきました。お子さんがいる子育て世代は、仕事や育児で忙しく、地域活動に参加することが難しいですが、地域活動の新たな担い手となる活力のある世代でもあります。

【講師紹介】

認定特定非営利法人こまちぷらす

(横浜市戸塚区)

理事 大塚 朋子 さん

2013年にこまちぷらすにお客さんとして赴いてから、ボランティアを経て、2017年からスタッフとして活動されています。

コミュニティカフェの立ち上げ経験を持つ大塚様から、ご講演をいただきました。

大塚さん自身も、「参加者↓運営者」になった方で、こまちぷらすが大切にしている「自分らしさ」を体现されています。



【「こまちぷらす」とは】

「子育てをまちでプラスに」を合言葉に、「こまちカフェ」「こよりどうカフェ」など、複数の子育て世代の居場所となる常設型のカフェを運営しています。

カフェでは、飲食だけでなく雑貨の販売や、レンタルスペースとして場所の貸出し、さらに、学び合いの場として月に一度勉強会などを実施しています。

カフェを運営するスタッフの他、平日のランチタイムには子供を見守るボランティアのスタッフが常駐しており、子どもを連れてきても、ランチタイムを楽しむことが出来ます。

＼もっとしりたい／



こまちぷらす
ホームページ

【講演内容の紹介】

こまちぶらすが掲げるミッション（私たちの役割）に、「孤立した子育てをなくし、それぞれの人の力が活かせる機会をつくる」とあります。本講演でも、こまちぶらすの活動紹介や子育て分野の事例共有の他に、地域活動全般に通じる「それぞれの人の力が活かせる機会をつくる」ことについてお話をいただきました。

○自分らしさを活かしていく

こまちぶらすでは、活動に関わる人たちの「自分らしさを活かすことが出来る」ことを大切にしています。自分らしい活動をすることで、本人の暮らしが豊かになり、結果として「誰かの困りごとを解決している」「まちの力が育まれる」状態になるように心がけているようです。

そのために、こまちぶらすでは、「自分らしさ」を活かせるよう、「こまちパートナー」としてそれぞれのやりがいや経験、気持ちを尊重し、関わる人を増やしています。例えば「子育ての経験を活かしたい」という方がいれば、子どもの見守りを手伝っていただいているようです。他にも、お菓子作りやPC作業等、その人に合った方法で、お手伝いをしてもらっています。

○地域活動でも「自分らしさ」を

地域活動においても、長い年月活動を続け、活動の幅が広がると、本来楽しくやりがいを感じられていた活動も「やらされている」と感じてしまうことがあると思います。もちろん、地域の課題を解決するために活動していくことは非常に重要です。一方で、こまちぶらすのように「自分らしい活動をしていくことの結果が、地域の課題解決につながる」という視点を持つことも大切なのかもしれません。

